



安全・安心で誇れるまち『刈谷』を目指します

Facebookにて活動報告してます
『深谷ひでき』で検索をお願いします

新春を迎え謹んでお慶びを申し上げます

皆様、いつもありがとうございます。刈谷市議会議員の深谷ひできです。日頃は私の活動に対し、ご理解ご協力賜り、誠にありがとうございます。

昨年中は、記録的な猛暑や米不足、物価高騰等、皆様も不安な日々を過ごされたことと存じます。私は、今年の一文字を『笑』といたしました。今年も皆様が『笑顔』で過ごせるまち「かりや」を目指し、私自身も『笑顔』を絶やさず『安全安心で誇れるまち刈谷』を目指し活動してまいります。引き続き、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。今回は「令和7年12月定例会等」について報告させていただきます。一読頂けると幸いです。

本年もどうぞよろしく申し上げます。



深谷 英貴 議員

1. 令和7年12月 定例会 報告 (会期：12/3~12/19 17日間)

◆ 議案等の審議 承認案件1件、単行議案2件、条例議案7件、予算議案8件

1) 議案等の審査結果を報告します。

議案79号「職員の旅費に関する条例の一部改正について」、議案80号「刈谷市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」、議案81号「特別職に属する職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について」、議案82号「職員の給与に関する条例の一部改正について」、議案86号「刈谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」、議案87号「令和7年度刈谷市一般会計補正予算(第4号・5号)」などについては原案可決されました。請願4号「介護・福祉・医療など社会保障の拡充についての請願」、請願5号「子どもたちの健やかな成長と権利擁護を求める請願」については不採択となりました。

2) 市民文教委員会にて確認しました。

【議案】刈谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

：「こども誰でも通園制度」の制度の概要は

当局：令和8年度から、保育所等を未利用の6か月~2歳の児童が、月一定の利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず時間単位で保育を受けることが可能。

：条例を制定するにあたり、市の考え方は

当局：保育の質の向上のため、乳児室の面積及び1歳児の職員配置は市独自に高い基準を設け、その他は国の基準を採用。

：実施を計画の「おがきえ保育園」「あおば保育園」は条例基準を満たしているか

当局：一時保育とこども誰でも通園制度を合同で実施しても面積基準はすでに満たしている。職員数は、現在の一時保育は3人で実施しているが、条例の基準を満たすよう職員を増員する予定。

の要望：今後、事業の詳細が決まっていくと思われる。期待の大きい事業である為、**確実な準備と市民への情報発信**をお願いします。



地域の困りごと、市政に対する
ご意見・ご要望などがございましたら、お気軽に
『くらしの相談カード』『くらしの相談窓口』をご利用ください。

〒448-0847
刈谷市宝町8丁目1番地
豊田自動織機労働組合会館 est内
TEL：0566-24-5848
FAX：0566-23-9113



3) 一般質問で確認・要望しました。

【テーマ】令和8年度 予算編成方針について

 : 刈谷市の今後の財政の見通しは
当局 : 歳出面は、工事費など物価高騰による上昇や扶助費の増加、国の施策に伴う地方負担の増加など、**更に膨らむ可能性がある**。歳入面は、米国の関税措置やガソリン税の暫定税率の廃止などが**大きく影響を与える**可能性がある。

 : 令和8年度の予算編成における重点項目は
当局 : 厳しい財政状況を鑑み、歳入面は、**新たな財源の確保に努める**。歳出面は、**事業効果の検証や見直し**などを行う。更に、デジタル技術の活用など**新たな発想や創意工夫**により、**限られた財源を最適に配分**することで、引き続き「**元気・笑顔・希望のまちづくり**」を積極的に推進する。



動画はこちらから

 の要望 : **厳しい環境下で、事業の再評価は必要だが、安易に事業を廃止することは最善の策ではない**。将来を見据えた**継続の視点**や、**新たな視点やチャレンジする事業**などを推進すること。「**元気・笑顔・希望のまちづくり**」実現に向け積極的な予算案となること期待する。

【テーマ】刈谷市のeスポーツの取り組みについて

 : 市としてeスポーツに取り組む、意義ときっかけは
当局 : **年齢や性別などにかかわらず、子どもから高齢者まで多様な世代が参加でき**、**市内外への本市の魅力発信に繋がると考え**、職員プロジェクトチームにて検討を開始。

 : **子どもや若者をターゲットとした「にぎわい」づくりの取り組み**は
当局 : 75周年記念事業「**刈谷eスポーツカーニバル**」を開催。市内小学生を対象にしたeスポーツ大会や自由参加のeスポーツ体験会を開催した。

 : **高齢者を対象とした「いきがい」づくりの取り組み**は
当局 : **居場所づくりや新しい趣味の発掘、多世代交流などを目的に**、昨年度、重原地区で開催し、結果を各自治会長・公民館長に報告した。その結果、**刈谷西部地区や築地地区での開催に繋がった**。今後、他地区にも周知する。



 の要望 : **高齢者への健康推進や青少年の交流促進等で、eスポーツは極めて高い効果が期待されている**。今後、取り組みを推進するためには、**関係する全ての担当課が、連携した支援を行う必要がある**。部署間の「**横の連携**」を強化し、**全庁一体となって取り組みを推進して欲しい**。

2. 市民文教委員会の行政視察にて先進事例を学びました。(10月22日~24日の3日間)

◇群馬県高崎市『ヤングケアラーSOSについて』

所感 : 「高崎市の子どもは高崎市で守る」という市長の強い想いとリーダーシップにより事業が強力に進められていることに感銘を受けた。**子供の情報は学校が一番身近で持っているため、学校教育課が主体となり、事業が進められている**。今後刈谷市でも、取り組みを具体的に進める必要があり、大変参考になった。

◇群馬県前橋市『自治会DXについて』

所感 : 自治会が抱える課題に対して、市の役割として「自治会のデジタル化支援」を積極的に進めている。**デジタル化は「目的でなく、あくまでも手段」であり、各自治体の自主性に任せている**とのことであった。地域との連携強化を更に図るためにも、大変参考になった。

◇東京都武蔵野市『未来にあるべき図書館の姿について』

所感 : 各階たくさんの方が各々の目的で利用されており、**複合機能施設として利用者が時間を共有している「場⇒プレイス」**であることを確認できた。**斬新なデザインの為、今後の修繕費用等の課題**があるとお聞きしたが、とても魅力のある「**場**」でした。大変参考になった。



武蔵野プレイスにて

